

流行期前に積極的な接種を

インフルエンザ予防接種助成

生後6か月から小学2年生までの方と
 高齢の方は自己負担額が **無料** に



▲江東区観光キャラクター
 コトミちゃん

対象接種期間 10/1(土)～令和5年1/31(火)

今年の冬は、世界中で季節性インフルエンザの流行が懸念されています。(一社)日本感染症学会では、過去2年間、国内での流行がなく、インフルエンザに対する集団免疫が低下しており、流行が起こる可能性があるとしています。予防接種が例年に比べ重要になっていることを受け、区ではインフルエンザ予防接種に対する助成を行います。接種のご検討をお願いします。

予防接種の助成対象者には、区から「接種予診票」を発送します。必要書類を持参し、契約医療機関で接種を受けてください。詳細は区ホームページをご覧ください。

生後6か月から 小学2年生までの方

無料

[助成対象者]
 接種日時時点で
 生後6か月から小学2年生までの区民の方

[自己負担額] **無料**(免除) ※1回のみ助成も可

[接種回数] 1人2回 ※2～4週間の間隔をあけて2回接種

[接種の方法] 10月上旬に発送予定の接種予診票と、母子健康手帳を江東区内の契約医療機関に提示してください。

[救済制度] こどものインフルエンザワクチンは任意接種です。予防接種法に基づく接種ではないため、万一健康被害が生じた場合は、同法の救済対象とならず、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の救済対象となります。



◀区ホームページ

接種予診票が届く前であっても、10/1(土)からの接種期間内であれば、助成を受けることができます。接種方法など詳細は区ホームページをご確認ください。

高齢の方

無料

[助成対象者]
 区民の方で、
 令和4年12/31時点で

①75歳以上の方
 ②65歳～74歳の方
 ③60歳～64歳のうち身体障害者手帳1級で、心臓・腎臓・呼吸器の機能またはヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害を有する方

[自己負担額] **無料**(免除)

[接種回数] 1人1回

[接種の方法] 10月上旬に発送予定の接種予診票を東京23区内の契約医療機関に提示してください。



◀区ホームページ

②・③の方は
 例年2,500円の
 自己負担が
無料に



新型コロナワクチン接種とインフルエンザ予防接種にはどれくらい間隔が必要?

接種間隔の定めはありません。
 同時接種も可能です。同時接種については、単独で接種した場合と比較し、有効性および安全性が劣らないとの報告があります。ただし、同時接種に関しては、接種する医師の判断となりますので、必ず事前に接種する医療機関にご確認ください。

新型コロナワクチン接種のお知らせ

5歳～11歳の方の3回目接種開始

5歳～11歳の方の新型コロナワクチン3回目接種が始まりました。区では、2回目接種日から5か月に到達前にお手元に届くように、接種券を発送します。予約や接種方法の詳細は区ホームページおよび接種券に同封のお知らせをご確認ください。1・2回目接種も受付中です。ご希望の方は区ホームページ等でご確認ください。

オミクロン株対応ワクチン接種 予約受付中

現在、接種券をお持ちで3回目または4回目を未接種の方の予約を受付しています。12歳から59歳で3回目接種がお済みの方には、9/27(火)以降に順次接種券を発送予定です。接種券が届きしだい、予約・接種できます。4回目接種済みの方の接種券発送などについては、国の決定をふまえて、改めてお知らせします。

☎ 新型コロナウィルスワクチン接種推進室
 ☎0120-115-721、FAX3647-8647



◀区ホームページ

☎ インフルエンザコールセンター

平日8:30～17:00

[こどもの接種について] ☎0570-0666-22

[高齢の方の接種について] ☎0570-0666-88

FAX3615-7171(共通)

掲載している情報は9月12日時点のものです。最新の情報はお問い合わせください。